

# 災害に備えて



2021年3月11日で、東日本大震災からちょうど10年が経ち、その間、山武水道では水道施設の耐震化を計画的に実施してきましたが、近年では、台風や大雨などの自然災害にも対応できるよう、取り組みを更に強化しているところです。

いつ起こるか分からない災害に備えて山武水道が対策していることのご紹介とご家庭で出来る災害対策を改めて確認してみましょう。

## 配水管耐震化の状況

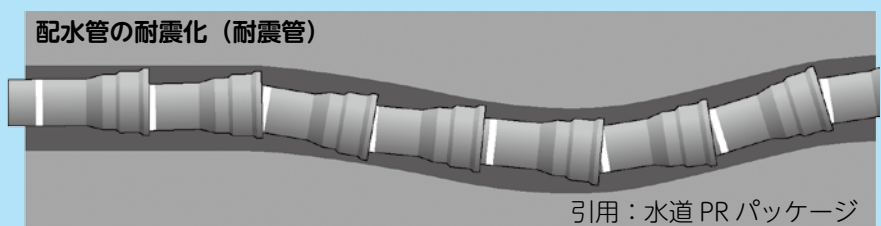
大規模地震等において、漏水事故が発生した際に被害が甚大となる**基幹管路**（口径350mm以上の配水管）及び災害時に対策本部となる行政機関や主要病院等の**重要給水施設への配水管**の耐震化を行っています。

### ◎基幹管路

総延長 約42km 耐震化済 約34km (80%)

### ◎重要給水施設への配水管

総延長 約162km 耐震化済 約46km (28%)



耐震管：大きな地震でも管が抜けない特殊な構造です

## 災害対策訓練の実施

職員の危機管理意識の向上、災害時の初動体制、応急給水・応急復旧活動が迅速かつ的確に実施できるよう、今年度は令和2年12月23日に災害対策訓練を実施しました。

災害対応の重要な方針を決定する災害対策本部会議の様子



東金配水場で給水車へ補給している様子

※令和3年度に新しい給水車を導入予定

## 修理用資材の備蓄

大規模地震などで水道管が漏水した際に迅速な修理が行えるよう、修理用の資材や給水袋を備蓄しています。

修理用の資材をクレーンを使ってトラックへ積み込む様子



6ℓ分の飲料水を背負える非常用給水袋

## ご家庭でできることは？

山武水道では災害に備えてさまざまな対策を行っていますが、大きな災害が発生すると広範囲で断水する可能性もありますので、災害時に飲料水を受け取るための容器等を準備しておきましょう。

### ◎1人1日3ℓの水を3日分確保

### ◎給水を受ける際は容器をお持ちください

- ①密閉性の高いポリタンクやペットボトル等の容器または、給水袋を準備してください。
- ②水は意外と重いので、容器を運ぶためのリュックや台車を用意しておくとう便利です。

## 地震が起きたときは…

身の安全を確保出来たら水道水が出るか確認しましょう。

地震直後は水道水が出ていても、その後、断水になることもあるのでバケツや浴槽などに汲み置きをしましょう。

